

地域との「つながり」を大切に、 関西・大阪の魅力を高めたい



昭和初期のガスビルの遠望



文化の発信拠点であったガスビルでの料理教室

メセナの原点はガスビル

私ども大阪ガスは、来年2015年に創業110周年を迎えます。創業以来、地元、関西・大阪を基盤とする企業として、会社の施設、人材、ノウハウなど有形無形の資源を活用して、ささやかではありますが、地道な地域貢献活動を続けてきました。

当社の活動にメセナというべき部分があるとすれば、その原点は、約80年前の昭和の初め、御堂筋沿いに建てられた本社ガスビルに遡ります。当時、ガスビルは大阪のハイカラな都市文化のシンボルとして、大いに注目を集めました。そこでは、文化・

科学の振興と都市ガスの普及を目的に、先進的なガス機器の展示や料理教室の開催、洋食レストラン（ガスビル食堂）の開業、大ホールでの映画、演芸、音楽の鑑賞会などが盛んに行われました。

ガスビルは、まさに都市文化の発信拠点であったわけですが、そのような「地域の皆さまのお役に立ちたい、大阪の街を元気にしたい」という当社のDNAは、文化・スポーツ振興、ボランティア活動といった形で現在も受け継がれています。

文化・スポーツ振興への一助

文化振興へのサポートという面では、扇町ミュージアムスクエア(以下OMS)の活動が中心です。OMSは当社の支社跡地を利用した複合文化施設で、小劇場を中核に、1985年から2003年までの18年間、若者文化の創造拠点としてご愛顧いただきました。その間、次代を担う劇作家の発掘を目的に「OMS戯曲賞」も創設しています。

建物の老朽化に伴い、施設としてのOMSは閉館せざるを得ませんでしたが、OMS戯曲賞は現在も続いており、微力ながら関西演劇界を活性化するためのお役に立ちたいと願っています。

また、硬式野球部や陸上競技部の活動を通して、地元でのスポーツ振興のお手伝いもさせていただいています。硬式野球部では、都市対抗野球大会をはじめ社会人野球の全国大会への出場を目指す一方で、「日本一の社会貢献活動を行う野球部」を目標に掲げ、地域での野球教室の開催、清掃活動などを続けています。

ボランティア活動 ～“小さな灯”運動～

また、“小さな灯”運動という社員が自発的に参加するボランティア活動にも取り組んでいます。社員がカレンダーを購入し、その売上を福祉活動に寄付するチャリティ募金、七夕やクリスマスの日には社員が手づくりのお菓子を持参して児童福祉施設を訪問する催し、福祉作業所などで作られた商品をガスビル前で展示・販売する「御堂筋ふれあいバザー」といった活動を続けています。一つひとつは小さな取り組みですが、継続し、積み重ねることが大切だと思っています。



OMS戯曲賞は関西演劇の活性化に一役

地域と人とのつながり

東日本大震災から3年が経ちます。関西を基盤として事業活動を行う当社が、地域とのつながり、お客さまとの絆の大切さを痛感したのは、1995年に起こった阪神・淡路大震災の時のことです。ガスによる二次災害を防ぐため、供給エリアの全てのお客さまの15%にあたる約86万戸ものガス供給を停止しました。

その後の復旧にあたっては、何よりも住民の皆さま方のご理解とご協力、そして温かい励ましやご支援の数々、さらには全国のごガス会社からの作業応援をいただいたことが復旧への大きな力となりました。この時の経験から、「地域との強いつながり、地域の方々の支えがあつた大阪ガスである」ということを改めて実感しました。

これからも、当社は、都市ガスをはじめとするエネルギーを安全かつ安定的にお客さまにお届けするのはもちろん、地域とのふれあい、信頼の絆を大切にしていきたいと思えます。文化やスポーツ、ボランティア活動が地域の一体感や活力を高めるのに欠かせない“ビタミン”のようなものであるのなら、私ども大阪ガスがそれらの活動を通して、関西・大阪の魅力向上に貢献する意義があるものと確信しています。

尾崎 裕(おさき ひろし)氏

昭和25年3月生まれ。昭和47年 東京大学工学部を卒業後、大阪ガス株式会社に入社。平成20年 同社代表取締役社長に就任。平成25年 大阪商工会議所副会頭、一般社団法人日本ガス協会会長に就任。

大阪ガス株式会社

本社 大阪市中央区平野町4-1-2、創業 明治38年(1905年)10月19日、資本金 1,321億円、お客さま数(取付メーター数) 708万6千戸(2013年3月末)、従業員数(個別) 5,867人(2013年3月末)



地域の子供たちを指導する硬式野球部員



阪神・淡路大震災の復旧現場
地域のお客さまの温かい励ましが復旧の支えに

